



小樽市 北海道ワイン(株)

『日本ワイン・GI北海道ワインをアジア各国へ』

【主な品目】

ワイン

【主な輸出先国・地域】

中国、香港、台湾、タイ、シンガポール等

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 将来の国内酒類消費減少に備え、道内のブドウ農業を安定・継続的に支えていくための新たな販路として、2002年より輸出を開始。
- ◆ 各省庁、JETRO、JFOODO、自治体の協力・支援を頂きながら、現地での試飲会、展示会、プロモーションに積極的に参加し、徐々に販路を拡大。
- ◆ コロナ禍では、主に中国でのWEB販売が伸び、問い合わせも急増。ただし、原料に限りある日本ワインであることと、国内需要も旺盛なため、既存パートナーとの継続性を大切に、深い相互理解のもと、慎重に販路を選んで進めている。

【輸出実績】(平成14年より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(本)	出荷時期
令和3年	4,300	50,000	通年
令和2年	1,800	20,000	
令和元年	1,500	15,500	



21年5月上海展示会



21年9月広州展示会



砂漠の高級リゾートにて取扱い

2021年中国でのPR活動

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 原産地証明や免税付表等の申請・提出に手間がかかっていたが、申請の電子化や簡素化が進み、助かっている。
- コロナ禍で現地との行き来ができず、メールやWEB商談が中心となった。現地市場性や法律、言語も不得意なため、信頼できる日本の商社との連携は大切と再確認。
- 国内外のワインコンクールは一部中止もあったが、継続出品している。受賞や出荷NO.1などの客観的な評価は、輸出先でも販促に役立っている。



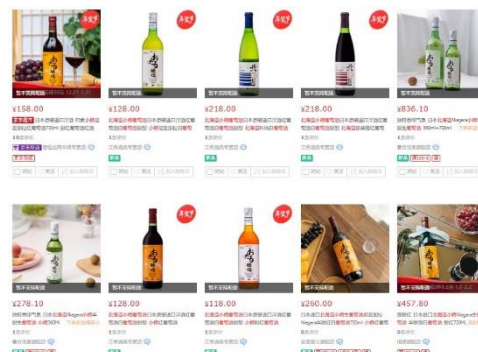
国際ワインコンクールでの受賞

【今後の課題・展望】

- 国税庁より「北海道」がワインの地理的表示(GI)に指定されたことは、世界的に優良なワイン産地「Hokkaido」への大きな1歩となった。また、北海道をはじめ道産ワイン分野への学術的な支援は大変心強く、UCデビスとナパバレーの成功例にならない、北大と道産ワインが連携して更なる品質向上と強いワイン産地作り、また、地元北海道の食との連携を通して、輸出とインバウンド観光の両面で、北海道ワインのブランドが高まることに期待。

【ウェブサイト】 <https://www.hokkaidowine.com>

【連絡先】 担当者名: 営業部 中澤次長 TEL: 0134-34-2181



中国パートナー各社による現地WEB販売